

広報こたけ

ひまわり だより12

2012 December No.479

contents

- ▶特集 2
- ▶みんなのひろば 14
- ▶点描・町長の動き 15
- ▶役場からのお知らせ 16
- ▶読書の森 20
- ▶健康情報 21
- ▶暮らしの情報 22



特集

「地域の力」と共に子どもを育てる ～小竹南小学校の实践活动から見てくるものとは？～

特 集

「地域の力」と共に 子どもを育てる

小竹南小学校の実践活動から見てくるものとは？



10月27日、佐賀県鳥栖市鳥栖市民文化会館で開催された第57回九州ブロックPTA研究大会で小竹南小学校PTAが福岡県代表として参加し、実践発表を行いました。

この九州ブロックPTA研究大会は、子どもを取り巻く環境やネットワークづくり、社会運動としてのPTA活動の広がり、視点を意見交換や討議を行い、研究を深めることを目的に毎年開催され、本年度は「語りあい 認めあい 育てあい 愛ことばは『子育ていちばん！』未来を創る子どもたちへ 今私たちができること」をスローガンに佐賀県内10会場で2日間に行われ、分科会、全体会が行われました。

大会では、「未来を拓き、地域社会を創る子どもを育てるために親として、PTAとして、大人としての役割を考えよう」を研究主題に、①組織・運営、②家庭教育、③学習活動、④健全育成と地域活動、⑤人権尊重・特別支援教育、⑥健康安全、⑦広報活動、⑧教育問題・小学校、⑨教育問題 中学校の9つの分科会に分かれ、九州内の各小

中学校で取り組んでいる活動についての実践発表が行われ、討議が行われました。

小竹南小学校PTAは、この日のために、約1年前から役員が発表する内容の検討から始め、盛り込む内容に必要な情報を集めるための取材活動を行い、内容の議論を重ねてきました。発表時間が20分間と、かなり限られた時間の中でテーマに沿った実践発表を行わなければならないため、内容を一部削ったり、または新たな情報を加えたりと試行錯誤しながら内容を作り上げていきました。

発表は、第4分科会「健全育成と地域活動」において、「地域と連携して子どもの健全育成を図るPTA活動」と題して、副会長の山田真由美さんと小竹南小学校教頭小里勝彦さんが登壇し、PTA組織、親子ふれあい活動、PTA新聞「みなみ」の発行、朝ごはんの鉄人、あいさつ運動などの各委員会が取り組んでいる主な活動内容、昔あそび、読み聞かせ、米作り、介護体験、習字ボランティア、山笠の授業などの地域

ボランティアの協力による授業内容を紹介するとともに、地域の力を生かしながら心豊かでいきいきとした子どもを育てていくためのPTA活動のあり方などの課題を提言しました。

その後、提言内容について、「地域の特色や伝統を生かす地域活動への参加」「地域文化をつくる活動への子どもと親の参加をつなぐPTAの取り組み」の2つのテーマについて討議が行われました。

PTA活動は、主に子どもを通じて学校・家庭で行うことが多く、地域の人と密接に活動を行う機会があまりないのが現状です。しかし、時代の流れとともにPTAの形も変化してきていることから、「地域の力、地域活動を通じてどんな子どもを育てていくか」を考えながら課題解決に向けた取り組みを行っていくことが求められています。

「地域の力」とは何か。小竹南小学校の実践活動から見てくるものから考えてみませんか。

今回、九州ブロックPTA研究大会に参加することができて、小竹南小学校のさまざまな活動を九州のPTAの人たちに発信できたことと、小竹南小学校は地域に愛されたすばらしい学校ということを、副会長の山田さんが堂々と発表してくれたことは、とてもうれしく思います。

この一年、基本的にはPTAの役員が集まって、発表内容の構成について話し合いをしてきました。ゼロから内容を作っていかねばいけませんでしたので、まずはたき台を作り、そこに活動内容の洗い出しや副会長の山田さんが取材から得た情報を付け加えながら形にしていきました。「地域との連携」がテーマだったので、そのテーマに沿った内容に近づけていくために、情報を組み替えていくなどの作業を行いました。この作業は大変でしたが、多くの議論を重ね、発表する内容を作り上げることができましたし、役員同士が話し合いの中で思いを素直にぶつけ合うことができました。そして、その思いをただぶつ合うだけではなく、しっかりと受け止め合えたことで、関わりが深くなれたと思います。そういった中で副会長の山田さんが頑張って発表してくださいましたが、正直、発表している山田さん以上に他の役員は緊張していたと思います。

実のところ、昨年、小竹南小学校がこの大会で発表することが決まったときは、かなりの不安がありました。でも、無事に終

えることができてよかったです。

そして、この発表を通じて、小竹南小学校PTA組織や地域と連携した授業内容について改めて考えさせられましたし、地域の人たちの思いをたくさん受け取ることができたと思います。

小竹南小学校PTAには、活動の原動力となっている学年委員会、広報委員会、成人保健委員会、地区委員会の4つの委員会があります。委員の皆さんはそれぞれの役割に応じた活動に取り組んで、家庭や地域と密接に関わっています。例えば、朝ごはんの鉄人、運動会で親子や地域の人たちと一緒に踊る炭坑節など、特色のある取り組みがあります。



地域との連携があることで子どもたちは地域の人たちと顔見知りになることができます。これからも地域とともに子どもたちを守っていきけるといいなと思っています。

小竹南小学校PTA会長
佐藤東雄さん

「朝ごはんの鉄人」については、九州大会で他県のPTAからも質問が多く出ましたので、行事の面でも小竹南小学校をPRできたのではないかと考えています。

そして、学校と地域との連携があるということは、PTAとしても、心強く、素晴らしいことだと思います。私も絵本の読み聞かせで授業に参加をしていて感じましたが、授業に地域の人が参加することで、雰囲気も変わって、子どもたちも新鮮な気持ちで学習に取り組んでいるように感じます。

発表の中でも、「先生にできないことを私たちはできる。」という言葉がありました。自分たちがどんな立場で協力しているのか再認識させられた気がしました。そ

して、子どもたちが学校から地域に帰ったときも、このような連携があることで地域の人と子どもたちは顔見知りになることができるので、地域の人たちに守られているような気持ちを持つことができると思います。この気持ちがあれば、安心して登下校でき、遊ぶこともできると思います。これからも私たちPTAも地域の方々とともに子どもたちを守っていきけるといいなと思っていますし、今回の発表でもこの思いを伝えることができたと思います。

私も残り4か月で引退ですが、学校での活動はもとより、地域や先生と関わりを持つて今後も活動をしていきたいと思っています。学校と地域にはどうしても目には見えない壁があるので、その壁を学校との良い関係を保ちながら越えて行くことが課題だと思っています。

また、大会では、「PTA」から「PTC A」という言葉が紹介されました。学校、保護者との関わりの中に地域（コミュニティ）が加わった新たな形へと変わってきていると聞き、将来的にもこのような形になっていくのかなと考えさせられました。

小竹南小学校にはPTA役員、校長、教頭、教務主任のOBと現役で組織する「竹南会」という組織もありますので、今後もうこういった場所での情報交換を大切にしながら、これからは私もそのメンバーの一人としてPTA活動を盛り上げていけるといいなと思います。

小竹南小学校PTAの具体的な実践活動内容

□ 学年委員会

【主な活動】

- ▷PTA親子ふれあい活動の実施
- ▷給食エプロンの補修
- ▷運動会のPTA種目の内容を検討および競技参加のお世話

□ 広報委員会

【主な活動】

- ▷PTA新聞「みなみ」の発行

□ 成人保健委員会

【主な活動】

- ▷「家庭生活アンケート」の実施および集約
- ▷一週間親子で朝食を作る「朝ごはんの鉄人」の実施
- ▷「給食試食会」の実施
- ▷年2回の資源回収活動(6月・12月)

□ 地区委員会

【主な活動】

- ▷毎月1～2日に「あいさつ運動」に実施
- ▷年2回の除草作業
- ▷年1回の廃品回収活動
- ▷年2回の資源回収活動(9月・3月)
- ▷防犯ステッカーの配布

勝寿会は、一年に一度、小竹南小学校一年生に昔の遊びを教えています。遊びの内容は、コマ回し、けん玉、竹とんぼ、羽根つき、お手玉、あやとり、おはじきです。数年前までは、竹馬も教えていました。

この活動の始まりは、学校から要請されたことがきっかけです。勝寿会は毎月役員会を行っていますので、その際、授業を誰がどの遊びを教えるかなどの役割も決めています。

昔の遊びの授業は、毎年2月に実施しています。子どもたちは体育館でそれぞれブロックに分かれ、全ての遊びを体験します。子どもたちにとっては見慣れない遊びなので、初めからスムーズに遊べる子どもはいません。特にコマ回しやけん玉のような技術が必要な遊びでは、コマに巻きつけた「ひも」をコマと一緒に投げてしまったり、けん玉の「玉」をボーンと高く投げてしまったりと子どもたちの苦労している様子が見られます。ただ、お手玉やあやとりは比較的覚えやすいようです。

授業自体は、参加している児童が一年生というのもあり、よくわからないうちに終わってしまうのが現状です。また、時間も限られているので、児童一人が一つの遊びを体験できる時間が10分くらいしかなく、あつという間に終了時間がきてしまうので「もう少し時間があればいいな、じつくりと教えたいな」と思います。

勝寿会のみんなは、とても熱心に教えて



竹とんぼ



あやとり

子どもたちと
関わりを持つことで
私たちは喜びや元気をもらい、
若返ることができます。
ありがとう。

勝野一区老人クラブ「勝寿会」会長
国房昭三さん

作っていきます。そして、授業が終わると子どもたち一人ひとりにプレゼントしています。

私たちが子どもの頃、男の子の遊びはコマ回しやけん玉、竹馬が遊びの中心でした。子どもの数も今よりも多かったので、学校から帰ると近所の子どもたちが集まって一緒に遊んでいました。そして、遊び方も上級生が遊んでいるのを見よう見まねでしていましたし、竹とんぼの作り方も上級生に教えてもらいました。しかし現在、子どもの数が少なくなっている中で、学校から帰ってきてまわりに友達が

いない。だからテレビゲームなど一人でも遊べるゲームが遊びの中心になっていて、昔と比べても、遊び方そのものが変わっています。

私たちは、今年の3月まで「見守り隊」として活動していました。下校中の子どもたちに声を掛けたり、ときには子どもたちから声を掛けられたりしてコミュニケーションを図っていましたが、屋外での活動でしたので、会員の体調面を考慮して終了しました。私自身、見守り隊や昔の遊びの授業を経験して感じたことですが、子どもたちと関わりを持つことで、喜びや元気をもらい、若返ることができます。とてもありがたいことです。

また、勝寿会の会員誰もが「地域にある学校にはできるだけ協力をしていきたい」という気持ちを持っていると思います。そこには「子どもたちを一番大切にしないといけない」、「人生の先輩として良い方向への道を知らせながら見守っていくことが大切」という考えがあると思うので、今後学校から要請があれば続けていきたいと思っています。

やはり、昔の遊びが時代の流れと共になくなっていくことは寂しいですね。今後も子どもたちとのふれ合いを大切にしていきたいと思っていますので、このような機会があれば子どもたちに昔の遊びを伝えながら、一緒に遊んで、笑顔になって楽しい時間を作っていけるといいですね。



います。そこには「一人で昔の遊びができたらうれしいだろうな」という思いがあるからです。特にコマ回しやけん玉などコツがつかみにくい遊びは、コツの部分をつまぐ伝えるために子どもの後ろに立って、一緒に手を握って指導をしています。何度か練習して、うまくいった時の子どもたちの笑顔を見ると、私たちも同じくらいうれしいです。この授業を通じて、子どもたちにもこういう遊びがあることを知ってもらえるといいなと思います。

昔遊びの道具は、ほとんど学校で準備されていますが、竹とんぼだけは私たちが

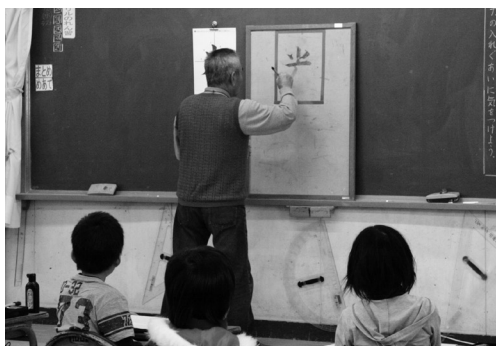
小竹南小学校の3年生に書道の指導を始めたのは、書道を趣味として活動する人が集まって作った書道同好会に対し、小竹町中央公民館の館長さんから書道ボランティアをしてもらえないかという話が来て、自分たちができることであれば協力しようということがきっかけです。

この活動は平成20年から始めました。小学校3年生は書道の入門期を対象に指導をするということで、原則として月に1回、全10回の活動に4人の書道ボランティアが参加しています。

初めは漢字の「二」「十」、平仮名などのごく基本の文字から一人ずつ手を取って指導をしています。一時間のうちにだいたい5枚くらい書いています。そして、最後に子どもたちが清書を2枚書いて、どちらかを選んで先生に提出し、教室に展示してもらっています。

この活動を始めたときに、私たちが感じたのは、1クラスだいたい25〜26人ですね。一人の先生が児童一人ずつ手を取って教えることは、時間的にも不可能です。そこに私たち4人が入ることで、指導者一人が5、6人の児童を指導することができます。私たちの身につけているスキルを子どもたちに伝える。教えるというより、手伝いをしていく感じです。

授業では、一人ずつ書道の基本である筆の押さえ方、止め方、はね方などを手を取って教えています。特に入門期の子ども



私たちが教えたことを子どもたちは吸収してくれる。指導をすればするほど子どもたちの成長を感じられて、とてもうれしいです。

書道ボランティア
今泉欣一さん

に指導をすればするほど子どもたちの成長を感じることができるのでうれしいです。

私たちは書道を趣味でやっていますので、無理に子どもたちに教えようという気持ちはありません。授業に私たちも一緒に溶け込んで書道をしているといった感覚です。孫みたいな子どもたちと書道を通じ

てふれ合うことで私たちも元気をもらっています。指導に行くことが楽しみになっています。

そして、書道の基本を学んだ子どもたちが喜んで字を書いている姿を見たり、授業が全て終わった後に「書道を習って楽しかった。」と子どもたちから感想をもらったりすると、楽しんで書道に取り組んでいることが結果として子どもたちの技術の向上につながっているんだなと思つてうれしくなります。やはり、こういうことは楽しくないと続きません。

私は毎日散歩をしています。散歩中に子どもたちとすれ違ふと「あ、習字の先生だ。こんにちは。」と声を掛けてくれるんです。それは小学生だけではなく、中学生になった子も声を掛けてくれます。たった10回の授業ですが、そのときのことを忘れないでいてくれるんだとうれしい気持ちになりますし、親近感が生まれて、授業以外の場所でもそういう楽しみがあります。

年々書道同好会のメンバーが減ってきていますが、体力が続く限り、今後も依頼があれば、指導を続けていきたいと思っています。また、書道とか工作とか絵など芸術的なものや創作的なものについては、子どもたち一人ひとりが直接指導を受けられるという面では、ボランティアの存在は随分大きいと思いますので、私たちの活動が、授業に少しでも役に立っているといなと思います。





私たち小竹祇園山笠振興会は、小竹南小学校3年生が取り組んでいる山笠の学習の一環として授業を行っています。子どもたちは「山笠はどうして始まったのか」や「以前はどんな飾り付けをしていたか」など事前に12項目ほどの質問を考えてくれているので、授業では、その質問に答えるとともに、山笠を行う大きな目的や地域の方々の山笠に対する気持ち、山を担ぐ側としても地域の方々の家内安全や交通安全などを願っていることなど、神事としての山笠と地域住民とのコミュニケーションを図る場としての山笠の二つの意味を説明しながら、終わった後に得られる満足感や充実感についても伝えていきます。

子どもたちはこの授業を経験することで山笠に参加したり、見たりすることができ、「楽しかった。おもしろかった。」と親子の会話も広がります。この体験は、生涯残ります。このことが大人になっても小さい頃に太鼓をたたいたことがあるなと思いつくことでふるさとに対する思いとか懐かしさにつながって、そこから人とのつながりも生まれるかもしれません。また、小さい頃にそういう体験を多くするほど心豊かな、人間性豊かな人になっていくと思います。それが大事なことだと思います。だから、そういう体験をしてくれる人が一人でも増えたらうれしいなと思います。

この授業が始まったきっかけは、5年前に学校からの要請があり、3年生は「地域

大人になって、
ふるさとに対する思いや懐かしさを
思い出させてくれるのは
子どもの頃の体験だと思っています。
授業では「山笠」の姿と心を
伝えていきます。

小竹祇園山笠振興会
力武貞四さん

を学ぶ」という授業があるので、地域にある伝統文化の山笠を学ばせたいということで授業を行うことになりました。

子どもたちは、授業を通じて山笠の歴史や意味を学び、山笠に向けての準備(ボンカン作り)もしますし、実際に山笠を体験して、学習の成果を南小フェスタで発表しています。

山笠が抱える問題の一つに「人」の問題があります。小竹区を見ても子どもの数が少なく、子どもたちの参加という面では、今までもぬり絵コンクールを実施して、山

笠に参加するきっかけづくりに努めてきましたが、その問題の解決にはつながっていません。そういった中、このように小竹南小学校で授業を行うことで、授業を受けた子どもたちはもとより、保護者へ参加が広がっていきばいいなと思います。この授業は、学校側の思いと私たちの思いがマッチして成り立っていると考えています。

授業中の子どもたちは目を輝かせています。自分たちで考えた質問について答えているので、非常に熱心に取り組んでくれます。後日届く感想には「これから山笠に

参加してみたい」などありがたい前向きな感想も多いですね。

こういう伝統文化は、地域の子どもたちに知ってもらわないとできないことです。だから、学校から要請があれば積極的に関わっていききたいですし、授業をすることで子どもたちに参加するきっかけが生まれ、実際に山笠に参加することで、山笠が成り立っていくと思います。逆にそういう関わりが無いなかで参加してくださいと言っても、なかなか関心を持つてもらえないと思います。

授業でいろんなことを見たり、聞いたりすることで「よし、やってみよう。」という思いをたくさん持つてもらうことが行事の盛り上がりにより一層つながっていくとともに、子ども自身にとっても素晴らしい体験ができる機会になります。だからこそ、山笠が立派に成功していく、豊かになっていくために自分たちからの働きかけも大事だと思っています。

私自身、こうやって学校に行って、授業をすることで子どもたちの純真な顔に出会ったり、笑顔をもったりして、私が逆に子どもたちから元気をもらっています。また、こういう授業を始めてからは、自分自身がこうだろうと思っていることをインターネットで調べたりするので、むしろ私の方が学ばせてもらって、自分自身の勉強にもなっていますので、大変ありがたいことだと思っています。



高血圧に注意

小竹町では、国民健康保険に加入している人を対象に特定健康診査を実施しています。

平成23年度の受診者は四百四十六人でした。その中で、正常高値血圧の人が二百四人、Ⅰ度血圧の人が百十七人いました。これらの結果から、受診者全体の約26パーセント、約4人に1人が高血圧であることがわかりました。

小竹町の死因別死亡数の統計（平成21年度）を見ると、1位はがん、2位は脳血管疾患、3位は心疾患です。全国や福岡県では2位が心疾患で3、4位が脳血管疾患なのですが小竹町では順位が違っています。このことから、

血圧の高い人が多いため、脳血管疾患で死亡する人が多いのかもしれない。まず、日ごろから血圧をきちんと管理することが大切です。

しかし、血圧が高くても自覚症状がないため放置されてしまい、少しずつ動脈硬化を進めていきます。そのため、サイレントキラー（静かなる殺し屋）とも呼ばれています。また、糖尿病などいろいろな危険因子を持っているとリスクも高くなります。まず、自分の血圧がどのくらいあるのか測定してみてください。そして、下の表を使ってチェックしてみましょう。

出典▶高血圧治療ガイドライン(2009年)

分 類	収縮期血圧		拡張期血圧
至適血圧	<120	かつ	<80
正常血圧	<130	かつ	<85
正常高値血圧	130～139	または	85～89
Ⅰ度高血圧	140～159	または	90～99
Ⅱ度高血圧	160～179	または	100～109
Ⅲ度高血圧	≥180	または	≥110
(孤立性)収縮期高血圧	≥140	かつ	<90

右の表は成人における血圧値の分類です。まずは、自分の血圧がどの分類に当てはまるか調べてみましょう。また、正常高値血圧の人でも血圧以外の危険因子によりリスクが変わります。下の表の□をチェックしてみましょう。



脳	☐ 脳出血 ☐ 脳梗塞 ☐ 無症候性脳血管障害 ☐ 一過性脳虚血発作
心 臓	☐ 左室肥大 ☐ 狭心症 ☐ 心筋梗塞 ☐ 心不全 ☐ 冠動脈再建
腎 臓	☐ タンパク尿 ☐ 尿中微量アルブミン ☐ e-GFR60未満 ☐ 確立された腎疾患
血 管	☐ 動脈硬化性プラーク ☐ けい動脈内膜・中膜壁厚肥厚 ☐ 大血管疾患 ☐ 閉塞性動脈疾患
眼 底	☐ 高血圧性網膜症
心臓病や脳卒中の危険因子	☐ 糖尿病 ☐ 慢性腎臓病（CKD）

上記の□に1個でもチェックがあれば、左表のリスク第三層の高リスクになります。該当がない人は、次の表の①～⑥をチェックしてみましょう。

① 年 齢	☐ 65歳以上
② 肥 満	腹囲(☐ 男性85cm以上 ☐ 女性90cm以上) ☐ BMI25以上
③ 脂質異常症	☐ 低HDL血症(40mg/dl未満) ☐ 高LDL血症(140mg/dl以上) ☐ 高中性脂肪血症(150mg/dl以上)
④ 家族歴	☐ 若年発症(50歳未満)の心血管病
⑤ 喫 煙	☐ あり
⑥ メタボリックシンドローム(※1)	腹囲(☐ 男性85cm以上 ☐ 女性90cm以上) + (プラス) ☐ 血糖異常(空腹時110～125mg/dl または 糖負荷検査2時間値140～199mg/dl)

上記①～⑥のうち、何個該当しましたか？

(診察室)血圧に基づいた脳心血管リスクの層別化

	正常高値血圧 130～139/85～89 mmHg	Ⅰ度高血圧 140～159/90～99 mmHg	Ⅱ度高血圧 160～159/100～109 mmHg	Ⅲ度高血圧 ≥180/≥110 mmHg
リスク第一層 危険因子がない	付加リスクなし	低リスク	中等リスク	高リスク
リスク第二層 右表B①～⑤のうち1～2個の危険因子がある、または⑥がある(※1)	中等リスク	中等リスク	高リスク	高リスク
リスク第三層 右表Aのうち危険因子が1個以上または右表Bのうち危険因子①～⑥が3個以上ある	高リスク	高リスク	高リスク	高リスク

(※1)リスク二層のメタボリックシンドロームは予防的な観点から以下のように定義する。正常高値以上の血圧レベルと腹部肥満(男性85cm 女子90cm 以上)に加え、血糖値異常(空腹時血糖110～125mg/dl、かつ / または糖尿病に至らない耐糖能異常)、あるいは脂質代謝異常のどちらかに有するもの。両者を有する場合はリスク三層とする。他の危険因子がなく腹部肥満と脂質代謝異常があれば血圧以外の危険因子は2個であり、メタボリックシンドロームとあわせて危険因子3個とは数えない。

●リスクがある場合、生活習慣の改善が必要です

- ▶食塩制限(6g 未満/日) ▶野菜・果物の積極的摂取(※ 腎障害、肥満者、糖尿病患者については摂取に注意)
- ▶コレステロール、飽和脂肪酸の摂取制限 ▶魚(魚油)の積極的摂取 ▶適正体重の維持(BMI25未満)
- ▶アルコール制限 ▶禁煙 ▶運動(心血管病のない者に定期的な有酸素運動)

高血圧管理計画

低リスク	3か月以内の生活習慣の修正で140/90mmhg 以上なら降圧薬治療を開始する。
中等リスク	1か月以内の生活習慣の修正で140/90mmhg 以上なら降圧薬治療を開始する。
高リスク	直ちに(数日以内)降圧薬治療を開始する 正常高値血圧の高リスク群では生活習慣の修正から開始し、目標血圧に達しない場合に降圧薬治療を考慮する。



自分で「このくらい大丈夫！」などと判断せずに、必ず医療機関を受診してください。

そして、主治医の先生の指示のもと、血圧をコントロールしましょう。また、内服が必要であれば、きちんと薬を飲みましょう。そして、大きな病気を引き起こさないことが大切です。





町長の動き

— 10月21日から11月20日まで —

10月22日	遠賀川河川事務所長来庁	町長室
10月23日	鞍手郡町長会研修	熊本県
10月24日	鞍手郡町長会研修	熊本県
10月25日	鞍手郡町長会研修	鹿児島県
10月26日	モノづくりフェア2012 ささぐり RDF センター視察	マリンメッセ福岡 須恵町
10月28日	飯塚駐屯地創立46周年記念行事 赤地区敬老会	飯塚駐屯地 赤地区公民館
10月29日	タカハタプレジジョン訪問 小竹郵便局長来庁 農事組合法人小竹農産設立総会	タカハタプレジジョン 町長室 直鞍農協小竹支所
10月30日	シルバー人材センター行政表敬訪問	町長室
11月1日	御徳二区自治会長協議	東住民センター
11月2日	町立病院院長面談	町立病院
11月3日	公民館まつり	中央公民館
11月4日	公民館まつり	中央公民館
11月5日	庁議 定期監査講評 一井工業訪問	議員控室 庁舎内会議室 岡山県
11月7日	九水連陳情	東京都
11月8日	九水連陳情 町功労者表彰式	東京都 福祉センター
11月9日	各課ヒアリング	町長室
11月12日	各課ヒアリング	町長室
11月13日	幼稚園防火の集い 庁舎問題対策審議会	役場前駐車場 議員控室
11月14日	県央組合正副組合長会議	組合事務所
11月15日	全国過疎地域・自立促進協議会	東京都
11月16日	全国過疎地域・自立促進協議会	東京都
11月17日	ボランティア連絡協議会交流会	福祉センター
11月18日	小竹教育の日	町内各小学校
11月19日	12月補正予算町長査定	庁舎内会議室
11月20日	自治会長会・環境衛生連合会役員会 宮城県大郷町議会視察来町	庁舎内会議室 議員控室

町 長 コ ラ ム

点 描

右肩上がり時代のほうに終わった。経済成長にかわり「幸福」という言葉がいま、注目される。新たな価値観、違うものさが求められている。「絆」社会の実現を政策に掲げ2年目の師走を迎えた。「生まれて誇り高く、住んで心地よく、訪ねて楽しい」このような協働の町づくりをめざして開催した「公民館まつり」は天候にも恵まれて約3千5百人の来場者を集めた。昨年に引き続き屋外ステージを設置。「久しぶりやねー。元気にしとったね。」など、観る、話す、食べる来場者は嬉々として笑顔満開。まるで同窓会にでもきているような雰囲気にも包まれていた。この「まつり」を陰で支えた公民館まつり実行委員会の皆様お疲れさまでした。

れ様。「民主主義における市民の役割は投票だけではない。何をしてもらえるではなく、つらくても必要な自己統治の作業を共にに行い何ができるかだ」(オバマ大統領勝利宣言の一節)。年の瀬に入り「協働の町づくり」とは何かを愚直に問う求道者の姿勢で町政を担う決意をもって新年を迎えた。

小竹同人俳句会
着つかれて欠伸ばかりの七五三
照り紅葉野点の釜の沸々と
長き夜や手術の膝の痛み耐ゆ
今日だけはしとやかなりし七五三
手柄の新しくなり七五三

小竹同人俳句会

伊藤扇白 選

小竹筍句会

小竹筍句会

阿部天風 選

七五三やとわれ巫女と思わるる 豊崎 民恵
日の丸を出してささやか文化の日 尾上 礼子
冬紅葉産土の宮守りけり 時川寿美子
冬館人寄せつけぬ門構へ 門田 睦子
地図になき町を旅する秋の暮 小嶋 亮子
老の身に一日は早し竜の玉 安藤つき子

小竹中央公民館サークル

阿部天風 選

帰り花幾歳すぎし炭釜の跡 塔野八千代
茶の花や復興急かる銘茶の地 藤野 久子
奥の院茶花こぼさず午後の雨 松井かほる
帰り咲く橋のたもとの鼓草 青柳満喜代
茶の花に朝の陽のさす白さかな 松崎 直

Town's topics

みんなのひろば

あなたの住む地域のイベントや身近な話題などの情報を広報で発信しませんか？

連絡先▶総務課情報係 ☎2・1212



◎野球選手に教わりました

10月24日、小竹南小学校の3年生(26人)が参加して「ホークスキャッチボールキャラバン」が行われました。

天気にも恵まれた中、元選手の出口外野手、高橋外野手がボールの投げ方やとり方、ゴロやフライの捕球の仕方などを分かりやすく教えてくださいました。

最後に、まとめとしてティーの上にボールを置いて打つ「ティーボール」を紅白に分かれて楽しみました。また、特別にサインももらえて子どもたちをはじめ参観に来ていた保護者も大喜びでした。



記事と写真の提供▶小竹南小学校

◎おめでとうございます

11月11日、福岡市早良体育館で開催された第20回格闘技交流大会で、中川一妃さん(赤地区)が組手個人幼年の部で準優勝しました。

この試合のために毎日練習をしてきた中川さん。惜しくも準優勝でしたが、「試合中は会長の声を聞いて頑張りました、次は絶対に勝って優勝します。」と次の試合に向けて意気込みを話してくれました。

◎キックボクシング萬田道場練習生募集中

詳しくは☎0947・44・1228まで問い合わせください。

◎町民が集い、楽しい一日になりました

11月3日、4日の2日間、中央公民館前広場、町民体育館、北公民館で公民館まつり2012が行われました。

今年は天候にも恵まれ、初日は小中学生による少年の主張発表会、作品展示があり、2日目はステージ発表、バザーなどが行われ、多くの人でにぎわいました。

会場では、友人や家族と一緒に食事をしたり、ステージ発表、作品展示を鑑賞しながら文化に触れる姿が多く見られ、人と人との触れ合いを感じる一日になりました。



◎おめでとうございます

11月8日、町総合福祉センターで平成24年度小竹町功労者表彰式を行いました。

今年度は、小竹北小学校の学校医や町の付属機関の委員として町政に貢献された菊地哲次郎さん(御徳二区)が表彰されました。





平成25年度 償却資産申告書を送付します

問い合わせ▶税務住民課税務係 ☎2・1216

償却資産とは、会社や個人が事業を営むために所有している土地および家屋以外の有形の固定資産で、具体的には構築物（建物付属設備を含みます）・機械・装置・船舶・航空機・車両・運搬具・工具・器具・備品等の固定資産をいいます。

●申告が必要な人
工場や商店を営んでいる、駐車場やアパートを貸し付けていたりするなど、事業を行っている人で、1月1日現在に償却資産を所有している人です。地方税法第三百八十三条の規定により、毎年1月1日（賦課期日）現在の所有状況を申告していただくことになっています。

▼所有権留保付売買資産については、原則として買主が申告してください。

▼共有資産は、代表者を決めて申告してください。

●申告が必要な人
工場や商店を営んでいる、駐車場やアパートを貸し付けていたりするなど、事業を行っている人で、1月1日現在に償却資産を所有している人です。地方税法第三百八十三条の規定により、毎年1月1日（賦課期日）現在の所有状況を申告していただくことになっています。

▼所有権留保付売買資産については、原則として買主が申告してください。

▼共有資産は、代表者を決めて申告してください。



年末年始のごみ収集、し尿処理等について

ごみ・し尿の問い合わせ▶税務住民課環境係 ☎2・1946

犬の引き取りの問い合わせ▶嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 ☎0948・21・4973

●ごみ収集のお休み・収集日の変更について

	対象地域	変更内容
固形燃料用ごみ	町内全域	1月1日(火)、1月3日(木)は収集を行いません。
ビン・カン	毛勝区3組 新多区 本町区 栄町区 勝野一区 勝野二区	収集日を 1月2日(水)から 1月5日(土)に変更します。

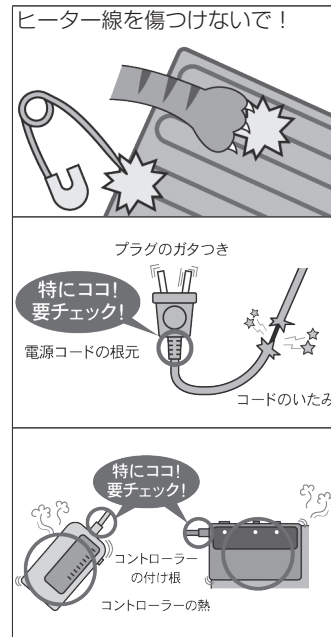
▶ペットボトルは、収集日の変更はありません。

▶引っ越し等の臨時のごみ収集は、お早めに各地区のごみ収集業者に直接お申し込みください。



電気毛布・電気ミニマット・電気カーペットをご使用のみなさんへ

愛情点検で快適な冬を！



- ▶外出時や使わないときは、必ずコンセントを電源プラグから抜いてください。
- ▶表面に傷や破れがあったり、内部が露出してヒーター線が見えたりしていませんか。
- ▶スイッチを入れても暖かにならないことはありませんか。
- ▶電源コードやコントローラーが熱かったり、臭いがしていませんか。また、コントローラーを踏んだり強い衝撃を与えてはいませんか。特に電源コードの根元やコントローラーおよびその付け根を確認してください。



教育長に再任されました



幼稚園から中学校までの全ての児童・生徒に対し、精神的に強い子「あらゆる困難に立ち向かう子・転んでも起き上がる子」の育成を目指しています。

9月議会において教育委員会委員に同意された須堯豊年さんが教育委員会の互選により小竹町教育委員会教育長として再任されました。

任期は平成24年11月3日から平成28年11月2日までの4年間です。



新多定住促進住宅入居者募集

問い合わせ▶(株)KKG(指定管理者) ☎2・5770

管財課住宅管理係 ☎2・1215

【入居予定日】平成25年1月1日(火)
【受付期間】12月3日(月)から12月14日(金)まで
【抽選日】12月21日(金)14時から
【抽選場所】新多定住促進住宅集会所
【家賃の減額】18歳未満の扶養親族がいる場合は、申請後人数に応じて家賃が減額になります。
【申込先】(株)KKG(指定管理者) ☎2・5770 または管財課住宅管理係 ☎2・1215まで

募集戸数および家賃等			
階層	家賃月額 (共益費込み)	募集戸数	駐車場料金
2階	30,000円	1戸	1台につき 月額1,500円
4階	28,000円	3戸	

▼申込用紙配布場所および申込方法など詳しくは問い合わせください。



12月11日(火)から12月31日(月)まで 年末の交通安全県民運動です

■運動の重点

●飲酒運転の撲滅

- ▷飲酒運転は「絶対にしない、させない、許さない」ことを徹底しましょう。
- ▷飲酒した翌日でも、アルコールの影響が残っている場合があります。お酒を飲んだ翌日に運転する予定があるときは、飲酒量、飲酒時間に十分注意しましょう。
- ▷飲酒運転による事故の悲惨さ、責任の重さについて家族で話し合いましょう。

●高齢者の交通事故防止

- ▷自動車運転中は「よく見る、早く見つける、素早い反応」の安全運転を実践しましょう。
- ▷道路を横断する際は「止まって、見て、待って渡る」を実践しましょう。
- ▷身近に起きた交通事故等について話し合い、家族が外出するときには、交通安全のための声掛けを行いましょう。



平成24年度町営住宅 入居者募集

問い合わせ▶管財課住宅管理係 ☎2・1215

【募集団地】栄町団地平家建て(1戸)、栄町団地二階建て(1戸)、毛勝団地平家建て(1戸)
【入居予定日】平成25年1月
【受付期間】12月3日(月)から12月14日(金)まで
【抽選日】12月21日(金)10時から
【抽選会場】福祉センター和室
【入居資格】▼入居者または同居者が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に

規定する暴力団員ではないこと。▼現に同居し、または同居しようとする親族婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある人その他婚姻の予定者を含む。があること。(単身の申込者を除く)▼入居予定者全員の所得金額(扶養親族1人につき38万円の控除後)を12で割った金額が15万8千円以下であること。▼単身者は、昭和31年4月1日以前に生まれた人であること。



交通事故にあったときは 届出が必要です

問い合わせ▶健康増進課保険年金係 ☎2・1224

国民健康保険の被保険者が交通事故などの第三者の行為によってけがをした場合でも国民健康保険で治療を受けることができます。その治療費は加害者が本来支払うもので、国民健康保険では医療費を一時的に立て替え、あとで加害者に請求することになります。このような場合は警察へ届け出た後に必ず健康増進課保険年金係まで届出を行ってください。

◎**届出に必要なもの**
印かん、国民健康保険被保険者証、交通事故証明書、その他届け出に必要な書類等※書類等がそろわない場合は後日でもかまいません

◎**示談前には相談を**
加害者から治療費を受け取ったり、お互いに自分の治療費を支払うという示談をしたりすると、国保が負担した医療費を返還していただくこともありまので、示談の前に必ず保険年金係に相談してください。



小竹町立病院だよりー 第12回 栄養科の紹介 ー

問い合わせ▶小竹町立病院 ☎2・0282

みなさん、こんにちは。寒い冬がやってきました。風邪などひいてはいませんか？

小竹町立病院栄養科では、入院中の患者さん一人ひとりにあった食事を温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに提供できるようスタッフ一同毎日心がけながら調理をしています。提供する食事についても、旬の食材を取り入れた献立を考えることはもちろんのこと、安心して召し上がっていただけるような食材管理、衛生管理にも気を配っています。

また、入院中の食事の提供以外にも患者さんを対象に医師の指示に基づき、病態に適した栄養指導や糖尿病教室を実施しています。栄養指導や糖尿病教室の参加をご希望のかたは気軽にご相談ください。

「こたけコスモス会」は、糖尿病、その予備軍と診断されたかたに対して、健康長寿のために必要な生活リズムを作るために病院スタッフと共に食事や運動に関する理解を深めるために楽しみながら学習を行っています。



今月の納税

税金は納期限までに納めましょう

問い合わせ▶税務住民課収納係 ☎2・1216

集合税 ー町県民税・固定資産税・国民健康保険税ー

第5期納期限 12月28日(金)

【口座振替日 12月25日(火)】

▶税の公平性

納付期限内に税金を納めた人との税の公平性を保つため、納期限が過ぎた後も納付がない場合、督促状を送ります。督促後、完納されないときは差押え等の処分の対象になりますので、納期限までの納付をお願いします。

▶口座振替による納税について

振替日は毎月25日(振替日が休日の場合は翌営業日、12月と2月は22日)です。自動的に指定の口座から税金が引き落とされるので、納め忘れの心配がありません。手続きは、町指定金融機関(福岡銀行、西日本シティ銀行、福岡びびき信用金庫、飯塚信用金庫、直鞍農協、ゆうちょ銀行)または税務住民課で行えます。



栄養バランスの観点からワンポイントアドバイスです。年末年始は食事の時間や回数が不規則になりがちです。ダラダラ食えることと宴会での飲みすぎ、食べすぎに注意しましょう。

また、おせち料理は、糖分や塩分が多く、少量で高カロリーです。人工甘味料の利用や野菜を多く使うことでカロリーを減らすことができます。例えば、煮物の中にこんにゃく、しいたけ、昆布を入れる、おせち料理に生野菜や温野菜を入れる、卵焼きの芯にほうれん草を入れるなどしてできるだけ野菜をとりましょう。食べ過ぎは体重の増加につながりますので、朝食前と就寝前に体重計に乗ることをお勧めします。

皆さん、今年もお世話になりました。来年もよろしく願います。食事に気をつけながら、有意義な年末年始をお過ごしください。

(文:小竹町立病院栄養科 松田貴子)



国民年金の付加年金制度と任意加入制度について

問い合わせ▶健康増進課保険年金係 ☎2・1224

○**申込先**
健康増進課保険年金係

はできません。

◎**付加年金制度**
付加年金制度とは、国民年金の第一号被保険者(自営業者や学生など)や任意加入被保険者(60歳以上の人で加入している人など)が、定額保険料(平成24年度は月額一万四千九百八十円)に付加保険料(月額四百円)をプラスして納付することで65歳から支給される老齢基礎年金に付加年金が上乘せされる制度です。

◎**任意加入制度**
国民年金の老齢基礎年金額は、満額で七十八万六千五百円(平成24年度)ですが、これを受け取るためには20歳から60歳までの40年間(四百八十月)の国民年金保険料を完納しなければなりません。従って年金額は、国民年金に加入していなかった期間や国民年金保険料を納めなかった期間に応じて少なくなります。

○**制度に加入できる人**
①国内に住所を有し、年齢が60歳以上65歳未満



○**加入手続きに必要なもの**
加入申出書、口座振替申出書、年金手帳、銀行の届出印
※加入申出書、口座振替申出書は窓口にあります。

○**申込先**
健康増進課保険年金係
※制度の加入には、ご本人の申出が必要です。

付加年金制度や任意加入制度へ加入することで、国民年金の受給額を増やすことができます。ただし、付加年金制度、任意加入制度のどちらの制度も一定の条件に当てはまる方が対象となりますのでご注意ください。

○**手続きに必要なもの**
年金手帳、印かん
○**加入月**
申し込みのあった月から

②老齢基礎年金の繰り上げ受給を受けていない
③20歳から60歳までの年金保険料の納付月が四百八十月未満
○**毎月の保険料**
国民年金保険料は、月額一万四千九百八十円(平成24年度)です。なお、保険料を前払いすることにより割引される前納制度もあります。(保険料の納付は原則口座振替になります。)



教育委員会からのお知らせ

問い合わせ▶教育課学校教育係 ☎2・1961

町内各小中学校・幼稚園の
2学期終業式および3学期
始業式についてお知らせし
ます。

小竹南小学校 小竹北小学校 小竹西小学校	2学期終業式 12月21日(金)
小竹中学校 小竹幼稚園	3学期始業式 平成25年1月8日(火)



今月の健康行事

▶内容によっては事前に予約が必要なものや対象者が限られる場合がありますので、保健センターに問い合わせください。

▶ウォーキング教室は、上靴、水筒、タオルを持参してください。

▶腎臓病予防料理教室は、材料の準備の都合上予約が必要です。(申込先▶保健センター☎2・1864)

◎問い合わせ…保健センター☎2・1864

12月

18日(火)：MR(麻しん・風しん)予防接種

13時15分～13時45分
町立病院

20日(木)：特定保健指導ウォーキング

10時～12時
中央公民館

25日(火)：三種混合予防接種

13時15分～13時45分
保健センター

26日(水)：腎臓病予防料理教室

10時～12時
保健センター

27日(木)：特定保健指導ウォーキング

10時～12時
中央公民館

1月

7日(月)：特定保健指導ウォーキング

10時～12時
中央公民館

8日(火)：乳児健診

13時15分～13時45分
保健センター

15日(火)：MR(麻しん・風しん)予防接種

13時15分～13時45分
町立病院



風邪やインフルエンザを 予防しましょう



普通の風邪とインフルエンザでは感染源となるウイルスの種類が違います。しかし、感染経路は主に「飛沫感染」です。これは、感染者のせきやくしゃみによってウイルスを含んだ飛まつ(しぶき)が飛び散りそれを吸い込むことで感染します。また、「接触感染」によっても感染する場合があります。これは、感染者が触れたものにウイルスが付着し、それに触れた手指で鼻や口に触れて感染するものです。

寒くなり
風邪やインフルエンザが
流行する季節になりました

◎風邪やインフルエンザにかからないために日常での予防が大切です

- ▼うがいと喉を清潔にしましょう。
- ▼せっけんを使って手洗いを十分にしましょう。
- ▼できるだけ人混みの中に行くのは避けましょう。
- ▼マスクをして鼻と口を覆いましょう。
- ▼温度差に気をつけましょう。
- ▼睡眠や休養を十分にとりましょう。
- ▼偏食をせずにバランスの良い食事を摂りましょう。
- ▼加湿や換気を行いましょう。
- ▼予防接種は有効な手段の一つです。

項目	ふつうの風邪	インフルエンザ
発症	徐々に	急激に
初期症状	くしゃみ・鼻水・咽頭乾燥	寒気・頭痛
主な症状	鼻水・鼻づまり	発熱・全身痛
悪寒	なし(少し)	ある
発熱	微熱(37～38度)	高熱(38度以上)
全身筋肉痛	ない	ある
鼻炎	ある	なし(少し)
咽頭充血	なし(少し)	ある
結膜充血	ない	ある
合併症	ない	気管支炎・肺炎・脳症

もし発病したら、早期に治療を受けるとともに、感染を広げないように注意しましょう。

感染経路となる飛まつ(しぶき)の拡散を防ぐためには「せきエチケット」が大切です。せきやくしゃみが出るときはマスクを着用しましょう。マスクをしていないときは、ハンカチやティッシュペーパーで口元を押さえ、他の人から顔を背けましょう。



えびす聖子

高橋克彦・著
幻冬社



古代出雲地方は斐伊の里に生を受けた少年シコオは、奇妙なうわさを耳にした。阿用の里に「鬼」が出たというのだ。比類なき猛者として名を轟かせていたシコオは鬼退治に向かうが、その道中、光輝き宙に浮かぶ「船」に出会い、「因幡の国をめざせ」との声を聞く。

真ちゃんの時短レシピ100

寺田真二郎・著
学研パブリッシング



「時短」をキーワードに、テレビ・雑誌で大活躍中の人気料理研究家、寺田真二郎さんが提案するレシピを1冊にまとめて紹介。忙しい主婦や、料理初心者にもうれしい、時間を効率よく使って作れる、簡単でおいしいレシピが満載です。

続々しごとば

鈴木のりたけ・文、絵
ブロンズ新社



今度の「しごとば」は、かっこいい消防隊員、新聞記者、客船船長…いろいろな仕事の現場と道具。小さなところまで見るのが楽しくなる絵本です。

まどから★おくりもの

五味太郎・作、絵
偕成社



みんなのおうちのまどからサンタクロースのおじいさんがプレゼントをなげこんでいきますが…クリスマスに楽しいしかけ絵本です。

入相の鐘

星川清司・著
文藝春秋社



当世一の粋人と喝采された、大田南畝、とし68。冴えて沁みいる老いの寂しさを、見事にえがく名品である。南畝大田直次郎。旗本徒士職にありながら狂歌戯作の世界で遊ぶ稀代の文人。虚実あやうい処世と晩年の光と影をえがく異色連作集。

三匹のおっさん ふたたび

有川浩・著
文藝春秋社



武闘派のキヨとシゲ、頭脳派のノリ。"三匹のおっさん"が万引きや不法投棄など地域の問題に立ち上がる! 痛快活劇小説第2弾。

ぐるぐるぐるちゃん

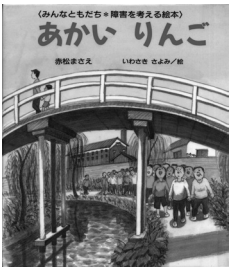
長江青・文・絵
福音館書店



りすのぐるぐるちゃん
おかあさんときょうはどんぐりひろい いっぱいとれるかな?

あかいりんご

赤松まさえ・文 いわさききよみ・絵
けやき書房



みどり作業所は、養護学校を卒業したあと、就職がむずかしい人のために、親たちが力をあわせてつくったところ。いま、男の人女の人あわせて35人が、元気に働いている。ある朝、かすこの姿が作業所にみえなくて…

ジョットという名の少年

羊がかなえてくれた夢
パオロ・グアルニエーリ・文 ビンバ・ランドマン・絵
せきぐちともこ・訳 石鍋真澄・解説 西村書店



羊飼いの少年、ジョットは、野原へ着くと羊の番などそっちのけで、夢中になって絵を描き始めます。ある日、ジョットは窓から通りを進んで行く一枚の美しい絵を見ました。絵を描いたチマーブエ先生の所へ行き、色の塗り方を教えてもらいました。ジェットは700年位前に活躍したイタリアの画家です。



開館時間 8:30～17:15
問い合わせ 中央公民館 ☎2・0452

子どもたちに絵本の楽しさを伝えています

みて! きいて!
おたのしみおはなし会



日 時▶12月9日(日)
11:00～12:00

場 所▶中央公民館

内 容▶ファザリングジャパンによる「パパの本気みせたる! 絵本ライブ」

相談

補聴器交付(修理)
巡回相談

【日時】12月13日(木) 9時30分から
10時30分まで／12月20日(木) 10時
から11時まで

【場所】小竹町総合福祉センター図
書室

【持参するもの】身体障害者手帳、
印かん、補聴器

●交付(修理)を受けた場合は、世
帯の負担能力に応じて費用が必要
です。

【問い合わせ】福祉課 一般福祉係 ☎
2・1219

小竹町社会福祉協議会
無料法律相談

【日時】12月14日(金) 8時30分から
受付、13時開始

【場所】小竹町総合福祉センター

【問い合わせ】小竹町社会福祉協議
会 ☎2・2028

労働トラブル電話相談

【日時】毎週火曜日20時から21時ま
で(祝日・年末年始を除く)

募集

平成24年度
狩猟免許試験

農林業者が自衛のために「箱わ
な」を設置してイノシシを捕獲す
るには、「狩猟免許」と市町村の「有
害鳥獣捕獲許可」が必要です。

【試験日時】平成25年1月20日(日)

【場所】クローバープラザ(春日市

【相談電話番号】☎092・724・
9505
【内容】未払賃金、解雇その他労働ト
ラブルについて福岡県内の司法書
士が無料で電話相談に応じます。

犯罪被害者相談電話
「ミス・リリーフ・ライン」

福岡県警では、犯罪の被害にあ
われた方々の心のケアを行う専用
の相談電話「ミス・リリーフ・ライ
ン」を開設しています。匿名でも構
いません。女性の臨床心理士が丁
寧にお聴きします。

【相談電話番号】☎092・632・
7830

【受付時間】平日9時から17時45分
まで(祝日・年末年始を除く)

原町3117)
【申込締切】平成25年1月11日(金)
▼受験資格、申込方法、手数料等詳
しくは問い合わせください。

公共職業訓練の
訓練生募集(4月期入校生)

【募集科】プログラム設計科、自動
車整備科、機械科、建築科、塗装科
【募集締切】平成25年1月18日(金)
【選考日】平成25年2月5日(火)
▼詳細についてはハローワーク
に備え付けている「募集案内」ま
たはホームページ([http://www.
fukuoka-kuren.net/](http://www.fukuoka-kuren.net/))をご覧ください。

【問い合わせ】福岡県立小竹高等技
術専門学校 ☎2・6441

平成24年度自衛官等
採用試験

【募集種目】高等工科学校生徒
【受験資格】中卒(男子)から17歳未
満の人(中卒見込み含む。)
※資格年齢は、平成25年4月1日
現在

【受付締切】平成25年1月7日(月)

課 ☎092・641・4141(内
線2744)

平成24年工業統計調査を
実施します

工業統計調査は我が国の工業の
実態を明らかにすることを目的と
した統計法に基づく報告義務があ
る重要な統計です。

調査結果は中小企業施策や地域
振興などの基礎資料として利活用
されます。調査時点は平成24年12
月31日です。調査票への御回答を
お願いします。

経済産業省
福岡県
小竹町

税務署からのお知らせ

平成26年1月から、記帳・帳簿等
の保存制度の対象者が拡大されま
す。

対象となる人は、個人の白色申
告者のうち事業所得、不動産所得
または山林所得を生ずべき業務を
行う全ての人で、所得税の申告の
必要がない人も含まれます。

詳しくは国税庁ホームページ
(<http://www.nta.go.jp>)をい
ただくか、最寄りの税務署に問い
合わせください。

【二次試験】平成25年1月19日(土)
【問い合わせ】自衛隊福岡地方協力
本部飯塚地域事務所 ☎0948・2
2・4847

お知らせ

忘年会・新年会は
「へいちく浪漫号」
貸切列車で

年末から年始にかけては、一年
で一番お酒を飲む機会が多い時期
です。平成筑豊鉄道では全力で「飲
酒運転撲滅」に取り組んでいます。
『飲むなら平筑、飲んだら平筑』
で楽しく安心して忘年会・新年会
をしませんか。

「へいちく浪漫号」貸切列車につ
いて詳しくは問い合わせください。
【問い合わせ】平成筑豊鉄道本社 ☎
0947・22・1000(平日9
時から17時30分まで)／へいちく
ネット [http://www.heichiku.
net](http://www.heichiku.net)

保育士有資格者
現場復帰促進研修会

【開催日】平成25年1月9日(水)、
1月10日(木)

愛のともしび



小竹町社会福祉協議会へ

■香典返し

故 松本サキエ	様(新多区)	遺族	松本 真一	様
故 山本 源七	様(勝野一区)	遺族	山本 敬子	様
故 柴田ヒサ子	様(御徳二区)	遺族	柴田 義博	様
故 國廣 公明	様(新多区)	遺族	國廣トシエ	様
故 國房 千代	様(勝野一区)	遺族	國房 義郎	様
故 久保山正男	様(勝野一区)	遺族	久保山綾子	様
故 青柳 健祐	様(御徳三区)	遺族	青柳 初子	様
故 片岡 文男	様(新多区)	遺族	片岡ミヨ子	様
故 大松クミエ	様(栄町区)	遺族	大松 秀樹	様

人 <i>population</i> の動き		ごみ <i>garbage of refuse-derived fuel</i> の量		交 <i>a traffic accident</i> 通事故の発生件数	
10 月末現在		10 月末現在		10 月末現在・() は前年同月比	
■ 人	8,568 人	176,450 kg	(前月比 + 21,620 kg)	発生件数	3 件 (± 0)
男性	4,036 人	ごみの減量と資源回収にご協力お願いします		死者数	0 人 (± 0)
出生	3 人	資源回収事業として、紙類・衣類は資源回収団体の		傷者数	3 人 (± 0)
転入	31 人	の皆さんが役場前で回収(月1回)しています。			
■ 世帯数	3,992 世帯	▶ 回収日 12月16日(日)9時から12時まで			

毎週木曜日は 窓口業務を午後7時まで 延長しています		のおがた警察署 街頭犯罪だより	
▷ 祝日は除きます ▷ 業務内容によっては、 当日処理ができない 場合があります		■管内街頭犯罪発生状況	
		10月中	10月末まで
		件数	件数 前年比
車上ねらい		19件	131件 -5件
自転車盗		17件	172件 -5件
空き巣		8件	88件 +4件
		直方警察署 ☎0949-22-0110	



◎清掃活動を通じて啓発しています

10月24日、小竹町たばこ小売組合の皆さんが役場周辺の清掃活動を行いました。

この活動は、たばこに関する啓発のために、数年前まで年に1回実施されていましたが、組合員数の減少により中止されていました。しかし、今回、組合長の山下栄子さんの呼びかけで復活しました。

「声掛けをしたらみんな参加してくれて本当にありがたいなと思いました。一つでも多くのごみを拾おうとみんな一生懸命取り組み、きれいになってうれしかったです。」と山下さん。



◎役場の周辺がきれいになりました

10月24日、宮若・小竹シルバー人材センターの皆さんが役場玄関前などの植え込みの除草および役場周辺の清掃活動を行いました。

この活動は、シルバー人材センターのボランティア活動の一環で、毎年この時期に実施されています。

この日は、30人の会員さんが約2時間の作業を行い、役場周辺は見違えるほどきれいになりました。

◎フロッカー楽しかったよ～！！

10月28日、南小学校体育館で勝野1区区民大会(フロッカー大会)を実施しました。この日は、子どもから高齢者まで約70人が参加し、フロッカーは今年で3回目ということもあって、多くの参加者がルールを覚えていたので競技もスムーズに進行していき、会場内から「やった～！」とか「しまった！」などのさまざまな声が聞こえてきて、大いに盛り上がりました。

こうして楽しいひとときを過ごし、心地よい汗を流し、日ごろの運動不足を解消することができました。表彰式後には、公民館で昼食会を開催し、より一層親睦を深めることができた一日でした。



●町内にお住まいで、満3歳までの小竹っ子を募集しています。

●1月号に掲載を希望するときは、12月10日(月)までに総務課情報係窓口でお申し込みください。

